

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

祝 第53回国頭地区中学校総合体育大会 男女ともに団体優勝 大宜味中ソフトテニス部



祝 安里正大さん、篤樹さん兄弟 剣道競技大会でトップ2に輝く

5月30日（土）～31日（日）に名護市宮庭球場で第53回国頭地区中学校夏季総合体育大会ソフトテニス競技が開催され、大宜味中学校ソフトテニス部が男女ともに団体優勝を果たし、県大会出場を決めました。

また、男子個人戦では平良太誠・東圭史郎ペアが優勝、當山耀希・平良誠太郎ペアが準優勝、前田泰那・高良凌平ペアが3位と、上位3組に入りました。女子個人戦では金城咲那・濱元朱莉ペアが3位、金城希咲・前田菜雪ペアが4位と好成績を収めました。

中体連は3年生にとって最後の公式戦。男子は「これまでより一層気持ちも高まり、優勝を狙って挑んだ。すべての試合で2ゲーム先取で勝

てたのでよかった」と話しました。女子は「一球一球を大事に練習してきた。決勝戦の大宮中との試合では3番手勝負になったが、諦めない気持ちで挑んだ。応援のおかげで勝つことができた」と振り返りました。

男女ともに県大会でも優勝を目指す大宜味中。男子は「ペア同士での声かけと仲間への応援に力を入れ、気持ちを大事にして負けないようにしたい」と意気込みました。女子は「ダブルフォルトをしないことや、中ロブの精度を上げるなど、技術面に力を入れて練習に取り組んでいきたい」と話しました。

また、5月30日（土）には名護中学校体育館で剣道競技大会が行われ、大宜味中3年の安里正大さん、1年の安里篤樹さん兄弟が出場。正大さんが優勝、篤樹さんが準優勝と、兄弟でトップ2に入る好成績を収めました。

2人はともに小学5年生から剣道を始め、現在は本部町で練習を重ねています。今大会に向け、正大さんは「現役最後の大会。声を出して相手に向かっていくことを心掛けた」と話しました。決勝戦は兄弟対決となり、本番では正大さんが本領を発揮しました。

7月に行われる県大会に向けて、篤樹さんは「声を出して自分から向かっていく」と意気込み、正大さんは「声を出して相手に向かっていきたい。恥ずかしくない試合にしたい。初戦突破を目標に頑張る」と話しました。

ソフトテニス部、剣道部ともに、県大会での活躍が期待されます。



「ぶながや」に親しむひととき 前田國男さんが語るぶながやのお話



6月6日（土）、謝名城公民館において、前田國男さんによる「ふしぎなふしぎな『ぶながや』のお話」が行われました。

このお話し会は「くがに未来17、」が主催したもので、「くがに未来17、」は昨年9月に発足し、

地域と移住者の橋渡し役となるため、大宜味村のよいところを見つけて魅力を伝える活動をしています。

この日集まったのは、子どもから大人まで78名でした。

國男さんは、琉球王国時代に編さんされた沖縄の正史「琉陽」の付巻で、各地の民話を集めた「遺老説伝」に「ぶながや」が記されていることを紹介し、謝名城は山なので魚を捕るという話は聞いたことがないなど、キジムナーとの違いを教えてくださいました。

また、國男さんは中学生の頃、「早朝に木の枝に座っている赤いものを見た。何かわからない不思議なものという感じだった。しばらく見つめ合った後、ゆらゆらしてあちこちが白っぽくなり、最後は白い玉になって飛んでいった。その後また見た時はライオンのような姿に見えた。ぶながやに『見たことを言うなよ』と言われている気がした」と体験談を話し、ほかに喜如嘉でぶながやを見た人たちの体験談も紹介してくれました。

國男さんは「ぶながやは見る人によって姿かたちが全く違う。地域の精霊であり、残り神のような存在」と話し、「今回のお話し会が、ぶながやに興味をもつきっかけになってくれたらいい」と締めくくりました。

会の終わりには、山城安信さん、山内美園さんが即興で「ちょんちょんキジムナー」の三線を披露し、会に花を添えました。

参加者からは、「知り合いがぶながやを見たと言って驚いた」「私も昔見たことがあるかも」などの声上がり、お話し会が終わってからも話に花が咲きました。



みんなが学び過ごしやすい学校を目指して 村学校訪問実施

6月9日（火）におおぎみこども園、19日（金）に大宜味小学校において、令和8年度大宜味村教育委員会学校訪問が行われました。

学校訪問には、教育長をはじめ教育委員、教育委員会職員が参加しました。

訪問では、子どもたちの生活や授業の様子を見学するとともに、学校の施設・設備の点検も行いました。

また、意見交換の場では、先生方から学校の方針や困りごと、課題などを伺い、子どもたちがよりよい学校生活を送れること、そして先生や職員が安心して働けることを目指して、意見を交わしました。

引き続き、子どもたちが安心して学べる環境づくりを進めていきたいと思います。

中学校の学校訪問は6月30日（火）に行われましたので、今後紹介していきたいと思います。



大宜味中 44 期生、努力実る総体 インターハイ・九州大会へ

5月23日（土）～25日（月）に沖縄県総合運動公園庭球場で行われた令和8年度沖縄県高等学校体育大会ソフトテニス競技で、大宜味村塩屋出身で現在八重山高校3年の我部喜歩子さんが女子団体戦4位、女子個人戦3位、名護高校3年の宮城松さんは男子団体戦優勝、個人戦5位の好成績を収めました。これにより、喜歩子さんは個人戦で、松さんは団体戦、個人戦ともにインターハイと九州大会への出場を決めました。

現役最後となる総体。約10年間のソフトテニス人生を、笑顔で楽しむことを心がけたという喜歩子さんは、「個人戦で憧れの舞台への切符を獲得することができて、めっちゃ嬉しい」と喜びを語りました。

また、「キャプテンとしてどうあるべきかを考えながら、周りを見て動くこと、何より試合中の声掛けが大事だと思った。総監督やコーチ陣の、後ろからの温かく気持ちのこもった声掛けが何より自分を鼓舞した。44期生からの応援動画や、幼馴染の活躍する姿を見て自分もパワーをもらい、頑張った」と振り返りました。

九州大会、インターハイに向けては、「憧れの舞台で自分の力がどれだけ通用するか、ペアと一緒にその晴れの舞台を思いっきり楽しみたい」と意気込みました。



総体を振り返り、松さんは「誰かのためというより、自分のためにもプレーした。誰かに言われたプレーではなく、自分で考えたプレー、したいプレー、好きなプレーを心掛けた。団体戦での優勝は1人ではできるものではなく、チーム全体で同じ方向を向いて目標に向かい、練習の時からお互いに声を掛け合ったことがチームの団結力を強め、つかんだ優勝だと思う」と話しました。

今回の結果を受けては、「部活としてチームでテニスができる時間が増えて、率直に嬉しい。団体戦は県大会で終わるようなチームではないと思っているので、九州大会、インターハイでもいい成績を残したい。個人戦では表彰台を目指していたので悔しい結果になったが、九州、インターハイの切符を勝ち取れたので、この悔しい思いをそこでぶつけたい。九州大会では団体ベスト4、個人戦2勝、インターハイでは団体ベスト16、個人戦3勝を目指す」と決意を新たにしました。

また、5月23日（土）～26日（火）にEnagic名護スタジアムで行われたラグビーフットボール競技大会には、塩屋出身で名護高校3年の島袋恭輔さんが出場。決勝戦では読谷高校を26—29で破り、5年連続24回目の優勝と九州大会出場を決めました。

もともと筋トレが好きで、地元の先輩に誘われて高校からラグビーを始めた恭輔さん。総体に向けては、サインプレーの反復練習や、タックル、キャリーなど身体を当てる練習に力を入れてきました。総体優勝という大きな結果を受け、恭輔さんは「嬉しい。日頃の練習の成果が出て安心した。きつい練習に耐えて頑張ってきたことも優勝につながったと思うが、全校生徒の応援が大きかった」と話しました。

さらに、「九州大会の1回戦の相手は新人大会で全国1位になった高校なので、今どれだけ全国に通用するか、食らいついていきたい」と意気込みを語りました。

中学生の時もパワフルで元気いっぱいだった44期生。今後の活躍に期待します！！



親子で園生活を体験 おおぎみこども園で保育参観

6月12日（金）、おおぎみこども園で保育参観が行われました。

平日にもかかわらず多くの保護者が訪れ、園児たちが子ども園で遊ぶ様子を見学したり、親子で手遊びや運動遊びをしたりして、普段の園での活動を見ていただきました。

園児たちもお父さんやお母さんの姿に大喜び。なわとびや三輪車に挑戦したり、遊んだ後のお片付けができるようになったりと、園生活を通して成長した姿を見せてくれました。



後半は、親子参加の歯科指導です。大宜味歯科診療所の先生から仕上げ磨きの方法を教わり、実際に磨く練習をしました。

親子でふれあいながら、園での成長を実感できるひとときとなりました。



バショウのウーハギを体験 大宜味小4芭蕉布体験授業

6月12日（金）、芭蕉布会館および芭蕉畑において、小学4年生を対象とした芭蕉布体験授業が行われました。

芭蕉布会館で平良菜緒さんからお話を伺った後、芭蕉布畑に移動し、ウーハギを体験しました。児童たちは、芭蕉布会館の方々に教えてもらいながら、見よう見まねで1人1本のバショウをウーハギしました。

その後、藍の発酵具合や作業風景などを見学しました。また、実際に糸や芭蕉布に触れ、普段自分たちが使っている布との違いも比べてみました。

植物から布が作られることや、1枚の布を作るために多くの工程があることを知る、学びの多い1日となりました。



笑顔あふれる大宜味小中 日曜授業参観・親子ふれあい

6月7日（日）、大宜味小・中学校で日曜授業参観・親子ふれあいが行われました。

小学校では、1～2時間目に体育館で、1・2年生は親子レク大会、3～6年生はコーンドッチボールを行いました。

親子レク大会の風船バレーでは、思い通りに飛ばない風船に振り回されながらも、お父さんやお母さんのサポートを受け、チームで力を合わせて試合に挑みました。

コーンドッチボールでは、敵のコーンを倒すため、また味方のコーンを守るために、子どもも大人も本気で勝負。時間いっぱい動き回り、多くの歓声が上がりました。

3時間目は、保護者を対象とした教育講演会が行われました。スマホあんしん教育アドバイザーで、「サイバー犯罪防犯講習会」講師の高宮城修さんが、インターネットのルールや法律、家庭でのスマホの使い方など幅広くお話ししてくださいました。

4時間目は引き渡し訓練が行われました。災害にあったことを想定し、児童が避難した後、保護者への引き渡しまでの流れを確認しました。



中学校では、1・2時間目に通常授業、3・4時間目に親子親睦バレー大会が行われました。

授業では、保護者の参観に少し緊張しながらも、静かに、また時ににぎやかに、いつも通りの授業風景を見せてくれました。親睦バレーでは、学年対抗や保護者との試合を通して、楽しみながら互いの親睦を深めました。



夏休み期間中、下記のとおりプール開放を行っています！！

対象：村内小中学生 ※小学3年生以下は保護者同伴

期間：7月21日（火）～7月31日（金）

8月17日（月）～8月27日（木） ※土・日・祝日除く。

※天候によっては、中止する場合があります。

時間：午前の部 9時30分 ～ 11時30分

午後の部 1時00分 ～ 3時00分

定員：午前、午後とも **先着順 各25名まで**

※ご利用の際は、**水着着用（水泳帽を忘れずに！！）**でご参加下さい。

お問合せ：大宜味村教育委員会 ☎44-3006（担当：島袋隆也）

※水泳教室については学校から配布されたチラシ、申込書をご覧ください。



～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第5回 教育委員会会議 令和8年5月28日（木）午後3時開催

＜審議事項＞

議案第18号 大宜味村学校給食センター設置条例の一部を改正する条例について 《可決》

議案第19号 大宜味村学校運営協議会規則の制定について 《可決》

議案第20号 令和8年度大宜味村一般会計補正予算（教育費予算（第2号））について 《可決》

図書室情報

No.83 2026年（令和8年）7月

大宜味村図書室（旧議会棟）
大宜味村字大兼久157番地 0980-44-3009

新着図書

『おおきみア～カイク』安里郁江 / 著・銀河書籍

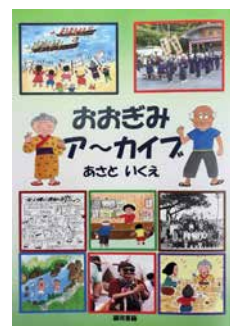
『はくしむるち』豊永浩平 / 著・講談社

『ぼくのおふろ』鈴木のりたけ / 著・PHP研究所

『タヌキまるごとBOOK』今泉忠明 / 著・辰巳出版

『ちゅうらうみのオキちゃん』由美村嬉々 / 著・KADOKAWA

『動画でわかる！楽しい！うまくなる！ミニバスケットボール』D-EQUIPO / 著・日本文芸社



～本の**リクエスト**受付中～
年度内 **ひとり5冊** まで

寄贈図書

『私の生きたパラオ・沖縄（大宜味 / コザ）・東京』渡久地芳子さんのお話を聴く会

『沖縄の植物漫歩』NPO 法人沖縄有用植物研究会

『うかたま』Vol.78～82 / 農山漁村文化協会

『久米島町史 資料編2 久米島の考古学』久米島町史編集委員会 など

☎ありがとうございました☎

7月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

6月の統計（6/22まで）

○来室者数…のべ61人

○貸出冊数…100冊

☎現在の蔵書数…10,107冊

●利用状況累計（2019年9月～）●

○来室者数…のべ5,126人

○貸出冊数…8,173冊

○登録者数…206人

9月1日より「ぶながやすみ」が始まります！！

大宜味村の新しい学習システム「ラーケーション」

～家族と一緒に五感で学ぶ特別な休日～

「ぶながやすみ」は、学校をお休みして、家族と一緒に地域の行事や体験から学ぶ新しい制度です。大宜味村の豊かな自然と文化に親しみ、教科書では学べない特別な体験に出かけましょう。

対象者

村内の小中学校に通う
すべての児童・生徒

日数

年間で**最大3日間**

扱い

出席停止・忌引き扱い
(欠席になりません)

対象となる活動

保護者と共に過ごす活動であること以外、特に制限はありません

申請方法

実施の1週間前までに学校に提出してください

※申請書は各学校からもらってください



おすすめの過ごし方

大自然と遊ぶ



伝統にふれる



味覚を学ぶ



家族で旅する



※詳しい内容につきましては各学校にお問い合わせください

大宜味小学校 ☎44-1306 大宜味中学校 ☎44-2840

旧喜如嘉小学校体育館 利用停止のお知らせ

旧喜如嘉小学校体育館は床のささくれ、雨漏りなどがあるため、利用者の安全を優先し、施設の安全が確認されるまで利用できません。

村民の皆さまにはご不便をおかけしますが、しばらくの間は旧大宜味小学校体育館をご利用ください。

施設利用予約など詳しいことにつきましては大宜味村教育委員会までご連絡ください。

お問い合わせ：大宜味村教育委員会 0980-44-3006（担当：島袋）





政信教育長のあじま～コラム

「願い」

7月7日は七夕です。こども園や学校では、七夕にちなんで笹を設置し、子ども達がそれぞれの願いを書いた短冊を、自由にかける取り組みを実施することだろうと思います。この短冊には子どもたちのいろいろな夢や願いが書かれます。おりしも学校では6月を「夢語るウィーク」として先輩や地域の方による夢語る講演会などを実施し、子どもたちが抱いた夢や願いを育む取り組みがあります。

さて、この時期の夜空には織姫、彦星の物語に登場する天の川や、夜空の星がくっきり表れるなど、星空観察に適しています。流れ星も多く見ることができでしょう。その流れ星に向かって願いを言うとうと昔から言われており、皆さんも小さい頃、必死に早口で願い事を言った経験があるのではないのでしょうか。その時の願いはどんなことだったのでしょうか。私自身は、どうせなら願いはでかくと、夢のある願いや欲張った願いなど、現実離れた大きな願いを唱えていました。「○○が欲しい」「○○のようになりたい」など、子どもたちの書く短冊にもそれに似たところがあります。

流れ星に唱える事も短冊に書くことも共通することがあります。それは、他力本願でひたすら「念ずる」ということです。

ある本に、『念ずる』は今の心と書きます。『今』の『心』とは、今日の前にある人、目の前にあることを大事にする心のこと。『目の前にあることを一生懸命やりなさい』ということ」ということがありました。他力本願の願いであっても、それは頭のどこかに残っており、また、自分の興味のあることに関係するので、その実現に何らかの行動へとつながっていくとくと思います。そのことは必ず何らかの役に立つといえます。また、「念ずる」という言葉が意味するように、目の前の人、ことを大事にすることで夢の実現へと近づいていくのではないのでしょうか。

周りの大人は子供一人一人の夢や願いを把握し、声かけや励ましなどで関わって欲しいと願っています。子ども達の夢が叶いますように……

2026年ウミガメ情報

6月25日現在

NO	海岸名	上陸・産卵日	脱出予想日数	脱出予想月日	種類	上陸の状況等
1	活性化センター前	4月30日	65日	7月5日±4日	アカ	
2	喜如嘉	5月10日	61日	7月10日±4日	アオ	
3	活性化センター前	5月18日	60日	7月17日±4日	〃	
4	大宜味	5月18日			アカ	上陸のみ
5	喜如嘉	5月25日	60日	7月24日±4日	アオ	2回上陸
6	活性化センター前	6月8日	60日	8月6日±4日	アオ	

※脱出予想月日は目安です。気温や天候により前後する場合があります。

7月の行事予定

- 1日（水）区長会
- 3日（金）（園）七夕まつり
- 4日（土）ミニバスケットやんばるカップ
- 5日（日）村体協ボウリング大会
- 8日（水）（園）避難訓練（不審者・消火）
- 14日（火）（園）学級保護者会



- 17日（金）1学期終章式（園・小・中）
- 19日（日）村球技大会（バレー・バスケット・ソフトテニス）
- 20日（月）海の日
- 23日（木）定例教育委員会議
- 24日（金）体験の翼夏季交流 ～ 26日
- 26日（日）世界自然遺産登録5周年